

2023 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要 (WEB 公開用)

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [本間 義隆]

学年・組・番号 [1 年 D 組 3 2 番]

研究課題: 飯縄山を例とした中世から近世までの山岳修験の歴史的意義とその過程についての考察
(英文) The historical significance of ancient Japanese mountain worship based on Mt. Iizuna

研究概要:

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200~400 字で記入してください)

飯縄山とは長野県北部に位置する山で、その頂上には本尊を飯綱大権現とする飯縄神社がある。同山はかつて修験道の霊山として平安~室町時代ごろに栄え、その信仰は関東、東北へと広まる程だったのだが、現代での知名度は低い。一方飯縄山に近接する、そばで有名な戸隠山での信仰は根強く、現代でも参拝者が多い。このように地理的条件はほぼ同一であるというのに、明確に信仰の知名度に差異が生じたことに興味を持ち、飯縄山を主な対象に定めて山岳信仰を研究することを決めた。研究方法としては、夏季休業時間中に高尾山薬王院へ飯綱大権現の調査のため赴いた。ほか菅狐等飯縄山での信仰の詳細について研究するため現地で巡検を行い、またその事前調査の場を設けた。二学期には関東の飯綱大権現を祀る古社、石碑の残る小諸、青梅を訪れるなど、飯縄信仰の広がりには焦点をあてて活動した。さらに冬季休業時間中に御柱祭で有名な諏訪への巡検と事前調査を行った。

研究成果:

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200~400 字で記入してください)

飯縄山における山岳修験はいつの時代でも信徒に超自然的な力やご利益を授けてくれるとされる概念であった。しかしこの力等の詳細は時代によって変化していったようだ。飯綱大権現の本地仏は大日如来であるため、権現は元々あらゆる願いを叶える為の智慧を授ける神であったと考えられる。だが室町時代以降の教義では飯綱大権現は戦勝を齎す神として認識されている。また信徒たちが扱う飯縄法という妖術や、彼らの団結力もあり武田氏を始めとする戦国大名が目をつけ、飯縄信仰は厚く信仰されたという。つまりは軍神として崇められ、利用されていたのだ。このように飯縄修験の歴史的意義とは、それを信仰する人々のニーズの変化に応じて移り変わってきたのである。今年を振り返って、三度に渡る巡検等を通して新たな知見や視野を複数得ることができ、多忙ながら有意義な時間を過ごせた。来年度予定している活動に向け今後も邁進していきたい。

研究者: (以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 1 年 D 組 3 2 番 本間義隆

研究分担者 1 年 D 組 0 9 番 原田宏人 1 年 D 組 2 6 番 勝田英翔

1 年 D 組 3 1 番 平井利空 1 年 D 組 3 8 番 徳田良信

1 年 D 組 3 9 番 藤沢颯太

担当教諭 松澤徹先生 (受給額: 30000 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



2023年7月14日
第一回巡検の際に高尾山の修験根本道場の前で
撮影した集合写真



2023年8月23日
第二回巡検の際に飯縄山を登り、その山頂で
撮影した集合写真



2023年8月23日
第二回巡検の際に飯縄山の麓にある鳥居前で
撮影した集合写真